



三事研広報 No.4

H25.1.11 発行



三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子
編集責任者 中村 弥生

子どもたちが冬休み前より少しふっくらして登校してきたのを見ると、充実したお正月を過ごしたんだろうなあとなんだか幸せな気分になりますね。

めっきり冷え込む日が続いております。皆様もお風邪など召されないよう、お気をつけください。

第49回三重県公立小中学校事務研究大会



10月23日(火)三重県総合文化センターにおいて「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」をテーマに、第49回三重県公立小中学校事務研究大会が行われました。ご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

講演

●演題 「子どもの豊かな育ちと学校事務」

●講師 岡山大学大学院教育学研究科准教授 高瀬 淳さん

新しい学習指導要領は、子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。「生きる力」は、知識基盤社会に求められる学力です。これまでは「生きる力」を育む手立てに課題があったとの立場から、具体的な手立てを確立することを意図しつつ改善が図られました。

各学校は、教育内容だけでなく、教育方法まで考慮した教育課程を編成する必要があります。学校はどのように手立てを考えなければならないか、私たち事務職員はそこにどのように関わっていかなければならないかを、憲法や教育基本法といった原点に立ち返り、お話しいただきました。

次代を担う子どもたちに、これからの社会において必要となる「生きる力」を育むために、どんな教育をおこなうのか、そのためにはどんな教材や備品が必要になるのか。各学校に応じたニーズを見つけ出し、教職員間でコミュニケーションをとりながら、共通理解のもと進んでいくことが、組織的な学校改善の起点になるのだと感じました。



支部発表



●研究テーマ 「予算委員会っていいな

～あんなこといいな、できたらいいな♪を

予算委員会がかなえてくれる?!～」

●担当支部 伊賀支部

午後の支部発表は、伊賀支部の現状、支部内の抽出校でおこなったアンケートの結果をもとに、予算委員会のあり方や方向性について話が進められていきました。また、この発表では、演劇形式という工夫も凝らされており、予算委員会というテーマを楽しく考えることができました。

参加者からも予算委員会の様子などの意見交換が活発に交わされ、それぞれの市町・共同実施・学校での取り組みや工夫を聞くことができ、有意義な時間となりました。

「少ない予算を有効に活用する視点を強く持つ必要がある」「教職員がそれぞれの分掌や立場で優先順位を考えて予算措置を検討する、学校の全職員で進めていく予算委員会に向かっていきたい」という言葉を胸に、教職員全員で協働しながら充実した予算委員会になるよう進んでいきたいです。

東海地区事務研(関大会)

11月22日(木)岐阜県関市において、「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務-日本のまん真ん中から切り拓く学校事務-」をテーマに、第44回東海地区公立小中学校事務研究大会が盛大に開催されました。

当日は風もなく、おだやかな天候に恵まれた大会となりました。





講演

●演 題 「東日本大震災と学校事務職員」

●講 師 岩手県大船渡市立大船渡北小学校 村上 誠二さん

村上さんは、東日本大震災が発生した当時、陸前高田市立第一中学校で事務職員として勤務していました。

自らの被災者としての体験と、復興に向かっての様々な活動について貴重なお話を聞かせていただきました。

研究部提案

●「つながり」を究める

今回の東海大会においては、平成25年度以降の研究推進のためのキーワードとして「つながり」が提唱されました。

今日までの東海事務研は、各県の実情、事情を互いに認め合いながら研究を交流し、刺激し、共に考え、つながることで学校事務職員のあるべき姿を追求してきました。この歩みを続けながら、研究テーマ「子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務」をより進めていくために、「つながり」をキーワードとして研究を推進していくことが提案されました。



パネルディスカッション

●テーマ 「あすからの一歩 踏み出そうみんなで」
～つながりが学校を変える～

●パネリスト

木岡 一明さん（名城大学大学院 大学・学校づくり研究科 教授）

矢嶋 英敏さん（岐阜県小中学校教育研究会事務職員部会顧問校長）

風岡 治さん（文部科学省初等中等教育局参事官付運営支援推進係長）

竹内 恵さん（鳥取県公立小・中・特別支援学校事務職員研究会 八頭町立八東中学校事務副主幹）

研究部が提唱したキーワード「つながり」をメインの柱とし、意見交換が行われました。私たちが一歩を踏み出すための、貴重なご意見をいただくことができました。

所感

刃物の町、関市をじっくりと訪れるのは初めてであり、新鮮な気持ちで参加させていただきました。

大会のテーマのとおり、地域や他の職種、様々な人との連携、「つながり」の大切さをあらためて感じました。また、震災を体験された学校事務職員の方の講演では、到底筆舌に尽くし難い状況の中、事務職員の立場として人として有事の際にどのように行動したのか、貴重な生のお話を聴かせていただきました。

みんなでひとつの方向へ向かっていくことはとても大きな力になり、課題解決へつながっていくことを学ぶことができました。（研究部 平岡）

支部の風景

三泗支部

三泗支部には、宮妻峡、鈴鹿スカイラインの紅葉、湯の山温泉、御在所ロープウェー、コンビナートの夜景など、日頃の疲れを癒すことができるスポットがあります。

食べ物ではB級グルメで有名な「四日市とんてき」があります。四日市の市街地では戦後間もないころからお店に出ているといわれています。とんてきの豚肉とキャベツには、老化防止や美白効果があるそうです。もちろん、豚肉とにんにくで疲労回復もばっちり！いい景色を見て、おいしいものを食べて健康に！ぜひお越しください。



全事研セミナーのご案内

- ・日時 2月22日（金）
- ・会場 大田区民ホール・アプリコ大ホール
（東京都大田区蒲田 5-37-3）

三事研 HP 更新のご案内

県大会質問事項回答、東海事務会報等、三事研 HP 会員専用ページで随時更新しています。

<http://miejiken.jp>